**別紙様式4-4**

**赤十字雪上安全法救助員Ⅰ・Ⅱ養成講習開催要項**

1.主　　催　　 《該当　地区（本部）・分区名・赤十字施設名》

2.開催趣旨 赤十字の基本理念を理解し、雪上（スキー場）での思いがけない事故から自分　　　　　　　　　自身を守るとともに、急病人やケガ人を正しく救助して、医師（救急隊員など）に引き継ぐまでの応急の手当ができるように、知識と技術を身につけることを目指します。

3.講習名　 赤十字雪上安全法救助員Ⅰ養成講習又は赤十字雪上安全法救助員Ⅱ養成講習

4.開催期日 《該当開催期日・時間》

5.検定実施日　 《該当検定実施日・時間》

6.講習会場 《該当会場名》

7.受講対象 (1)赤十字雪上安全法救助員Ⅰ養成講習

満18歳以上の赤十字救急法救急員の資格を（認定証発行日から5年以内）を有し、かつ全日本スキー連盟技能検定2級に相当する技術を有する方。

(2)赤十字雪上安全法救助員Ⅱ養成講習

赤十字雪上安全法救助員Ⅰ養成講習の資格（認定証発行日から5年以内）を

有する方。

8.募集人員　 30名(標準)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 講習名 | 講習科目 | | 標準講習時間 |
| 赤十字雪上安全法  救助員養成講習 | Ⅰ | 1.雪上での事故防止  2.スキーの基本  3.雪上での事故者の救助技術 | 7時間  ※検定時間を含まない |
| Ⅱ | 1.スキーパトロール  2.ゲレンデでの事故者の救助  及び応急手当 | 12時間  ※検定時間を含まない |

9.講習科目

及び時間

10.講習方法 「赤十字雪上安全法講習教本」により学科、実技を指導します。

11.指導者 日本赤十字社雪上安全法指導員

12.受講方法 (1)受講希望する方は、《該当期日》までに《該当申込先》あて、申込みして下さい。

(2)受講に要する経費《該当金額》（教材費）は、初日受付で納入して下さい。

(3)受講者は、実技のしやすい服装（トレーニングウェアなど）で参加して下さい。

(4)受講者の携行品は、Ⅰ：ロープ（長さ5m、直径9～11mm）・筆記具です。

Ⅱ：スキー用具一式（スキーウェア・帽子･ゴーグル・

グローブ等）・ロープ（長さ5m、直径9～11mm）です。

(5)赤十字雪上安全法救助員Ⅰ養成講習を受講する方は、必ず｢赤十字救急法救急員（赤十字ファーストエイドプロバイダー）認定証｣を持参して下さい。

(6)赤十字雪上安全法救助員Ⅱ養成講習を受講する方は、必ず｢赤十字雪上安全法　救助員Ⅰ認定証｣を持参して下さい。

13.交付証 (1)全日程を修了した方に、受講証を交付します。

(2)検定を行い、成績優秀な方に

赤十字雪上安全法救助員Ⅰ養成講習：「赤十字雪上安全法救助員Ⅰ認定証」

赤十字雪上安全法救助員Ⅱ養成講習：「赤十字雪上安全法救助員Ⅱ認定証」

を後日交付します。